

エンカウンター (ENCOUNTER)

第 194号

平成30年6月20日

編集・発行人 〒224-0015 横浜市都筑区牛久保西 2-14-28 山口周三

電話 080-1232-0905

<http://encounter.agape.gr.jp/>

カウマン夫人著『日の出に向かって』より (6)

6月6日

するとイエスは彼らに言われた、「さあ、あなた方は、人を避けて寂しい所へ行って、しばらく休むが好い」。(マルコ 6・31)

ジョージ・ワシントン・クレーバーは、友人たちの集まっている所で、自分の仕事の習慣について話していられるとき、このように言いました。「まず私は森に入って行って、いくつかの標本を採集し、それから神が私に語りかけようとしておられる事柄に耳を傾けるのです。朝の神との語らいが終わった後に私は書斎にもどり、その日の神のみ心を実行しようと取り掛かるのです。もしうまくいかなければそれは私のせいであり、もしうまくいったならば、それは神様のみ心がなされたのです。」

父なる神よ。わが主キリストが、朝早く起き出て、あなたと親しくお交わりをなさったことを思い起こします。どうか、私たちが祈りをもって毎日始めるように覚えさせて下さい。キリストと毎日

10 分間お交わりをして過ごすならば、——たとえそれが 2 分間であ
っても——その日一日を全く違ったものにするのです。

ヘンリー・ドラモンド

毎日、数時間ずつを聖なる事柄に費やしましょう。

クリントン・スコラード

6月9日

私は彼女に言った、「あなたは長くわたしの所にとどまって、淫行をなさず、また他の人のものとなってはならない。わたしもまた、あなたにそうしよう」と。(ホセア 3・3)

人生の行程を、美しい花で飾ろうとも、糸杉の小枝で覆いかけようとも、いずれにしても、変わる事のない主の御声が、変わり得ない真実さをもって響き渡るのです。「見よ、私は世の終わりまで、いつもあなた方と共にいるのである。」

神が私たちと共にいて下さるならば、私たちの人生は春の野のように花咲き、春の花のようにふくいくと香りを放ち、そして6月の野原のように光輝に満ちあふれるでしょう。

この世が与え得るすべての尊い物のうちで

これこそ最高のものでしょう

それは、主なるあなたを発見し、生けるお方のもとに行き

あなたのもとで平安を得ることです

友、富、名声、また、他の何ものを得たとしても

もし私が主なるあなたとのお交わりを頂けないならば、すべて

は空虚です

6月10日

主はわたしに耳を傾けられたので、わたしは生きるかぎり主を呼びまつるであろう。(詩篇 116・2)

私は望遠鏡を手にとって、数百万キロメートル先を視野にとらえることができます。しかしながら、私が自分の部屋に退いて祈るならば、この世のあらゆる望遠鏡にもまさって、もっと神と天に近づくことができるのです。

蒋介石夫人の母親は、毎日、神にその日の導きを頂くため、3階の部屋に退いて長い時間を過ごすのが習慣になっていました。彼女に助言を求めますと、彼女の返事はいつもこうでした。「明日までお待ちなさい。そうすれば、私はその件についてなにかにもわが主にお願いして、主の良い導きを得ることができるでしょう」。

彼女にとって、神に祈り求めるということは、彼女の子供たちの祝福と彼女の願いを聞き届けて下さいと、神に5分だけ祈ることではなかったのです。彼女にとって祈りとは、彼女が主の導きを確信するまで、神を待ち望むことを意味したのです。

どんな時でも、神と共におり続けよ。

6月13日

神はわれらの避け所また力である。悩める時のいと近き助けである。(詩篇 46・1)

おおくの人々は、ただ努力をしてみるものの、結局信じようとはしません。それは、井戸に落ち込んで助け出してもらおうとするかわいそうな子猫の力のない努力と同じです。…

全く同じように、私たちは躊躇し、もがいて、遂に疲れ果てて自分を放棄するのですが、その時こそ神は何でもおできになるのです。信仰の祈りとは、私たちがある特定の時に済ませなければならない神との取引であり、その後は、既に済んだと見なすべきものなのです。

私たちのどうしようもない無力さが、神の助けをもたらすのです。私たちは心の貧しさ以外には、何も必要としません。私たちは、如何に泣くべきかを知る必要さえありません。自分がどうしようもなく無力であることが分かれば分かるほど、助けを得ることが用意となるのです。

6月15日

どうか、私の思いが主に喜ばれるように。(詩篇 104・34)

私はクエーカー教徒の一婦人のことを聞いたことがあります。彼女は毎日 30 分間、静かに座ったまま何もしないで、これが自分の静思の学びなのだと言いながら、過ごさねばならなかったのです。私は、私たちがそのような 30 分間を、毎日神と共に楽しく過ごせたら良いと願っています。私たちの静思の時と学びとは、その日一日の最も有益な学びの一つであることでしょう。

御言葉と主御自身に対する、より霊的で熱心な黙想によって、神をますます深く知るように求めましょう。

神がお語りになるのを聞くことができるほど静まっている人は、何と少ないことだろう。

6月17日

私は決して、あなたの手を離さない。(イザヤ 41・13)

私はあなたに約束する

この世のすべてを支えている私は、あなたを支えて、あなたの魂を

固く守ろう

わたしはあなたに約束する

この長くもあり、短くもある生涯で、あなたが歩まねばならない道

程を

誰も決してそれ以上無理に生かせたりはしないことを

私はあなたに約束する

あなたの個人的な影が、あなたが愛する人の道を暗くすることは決

してない事を

私はあなたに約束する

たといその日が遅れようとも、私があるあなたを御国に迎える日が必ず

やって来ることを

エミー・カーマイケル

キリストが支配しておられない人生は、中身がなく、味気ないもの

である。

6月19日

あなたが、もしこの事を行い、神もまたあなたに命じられるならば、あなたは耐えることができ、この民もまた、みな安んじてその所に帰ることができよう。(出エジプト 18・23)

心は孤独でひどく痛み

われわれが歩む道にあるいは恐れが満ち

あるいは深い悩みがあろうとも

われわれは、歩み続けねばならない

灼熱の太陽のもとでも倒れないで

足を痛めても泣き叫ばずに

レースは始まったのだ

われわれは、歩み続けねばならない

登れ、ごつごつした石ばかりの苦しみの斜面を越えて

杖を手にして、希望をもって心を強くせよ

たとえどんなことがその日に起ころうとも

われわれは、歩み続けねばならない

シビル・レオナルド・アームズ

6月28日

主なる神は教えを受けた者の舌をわたしに与えて、疲れた者を言葉をもって助けることを知らせ、また朝ごとにさまし、わたしの耳をさまして、教をうけた者のように聞かせられる。

(イザヤ 50・4)

私たちが神にあって希望を持ってない時など、ただの一度もありません。私たちの必要が何であろうとも、如何に私たちの困難が大きくても、またたとえどう見ても神の助けが不可能である場合でも、私たちのなすべきことは、神にあって希望をもつことなのです。神は、この事やあの事、あるいは 20 の事柄などに制限されるお方ではなく、一万の違った方法で一万の違った時に、私たちをお助け下さるのです。

私たちがなすべきことは、私たちの問題を主の前に持ち出すことであり、子供のように素直に私たちの心をすべて神の前に注ぎ出すことなのです。私たちは、困難や堪えられない試み、色々な損害や多くの試練などによって、疲れ切ったりうんざりしたり、病気でひどく衰弱してしまう時があります。しかし私たちはそのような環境に置かれても、主イエスのもとへ立ち帰ることができ、主が下さった数々の尊い約束を思い起こすことができます。

ジョージ・ミュラー

6月29日

主よ、わたしは夜の間にあなたのみ名を思い出して、あなたのおきてを守ります。(詩篇 119・55)

私たちの数々の悩みを壁の外に捨てることができるように、いま私
たちを助けてください。私たちが夜閉じる花のように眠りにつける
ように助けてください。

あなたが寝る前に、いろいろ困った事柄を静かに捨て去りなさい

ちょうどあなたの衣類を脱ぎ去るように

心配や悩みを捨て去りなさい

あなたの重荷とあなたの思い煩いを

祈りの静かな御腕の中におろしなさい

主よ、あなたは私の生きざまをご存知です

私が犯してしまったすべての罪をお赦し下さい

私がやろうと試みたあらゆる善き事を

強くし、祝福し、成し遂げさせて下さい

あなたのもとで私が眠っている間に

私が愛するすべての者を安全にお守りください

心配は、ロッキング・チェア…、それはあなたになすべきことを与
えてくれるが、それはあなたをどこにも連れて行ってくれない。